



# アスモ少額短期保険株式会社

(旧ブロードマインド少額短期保険株式会社)

ディスクロージャー 2014

## CONTENTS

---

### ・PART 1 業績報告

- 1-1 ご挨拶
- 1-2 事業の概要
- 1-3 収支の状況
- 1-4 財務の健全性

### ・PART 2 商品とサービス

- 2-1 商品のご紹介
- 2-2 販売体制
- 2-3 お客様サポート
- 2-4 情報開示

### ・PART 3 各種取り組み

- 3-1 リスク管理
- 3-2 個人情報保護
- 3-3 コンプライアンス
- 3-4 教育研修体制
- 3-5 指定紛争解決機関について

### ・PART 4 会社概要

- 4-1 会社プロフィール
- 4-2 沿革
- 4-3 組織体制と経営陣
- 4-4 グループのご紹介

### ・PART 5 各種データ

本資料は、保険業法第 272 条の 17 において準用する保険業法第 111 条第 3 項、第 4 項および保険業法施行規則第 211 条の 37 第 1 項に基づき作成したディスクロージャー資料(業務及び財産の状況に関する説明書類)です。

## PART 1

### 事業報告

- 1-1 ご挨拶
- 1-2 事業の概要
- 1-3 収支の状況
- 1-4 財務の健全性

## 1-1 ご挨拶

---

平素よりアスモ少額短期保険(旧ブロードマインド少額短期保険株式会社)をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

### 「本当に必要な保障が少しだけあればいい」

ありそうでなかったそんな保険をお客様に提供するために、私達は生まれました。

私たちには大きな自社ビルも、役員用の社有車もありません。保険をたくさん売ったセールスマンを海外旅行に招待することもしていません。有名タレントを使ったTVコマーシャルもしていませんので、知名度は今ひとつかもしれません。

その代わりに、私たちは、お財布にやさしい保険を皆様に提供することができます。

シンプルで必要最小限の保障を店頭で、通販で、インターネットでご加入いただくことができます。

ソルベンシー・マージン比率 3,604.4% (2014年3月末時点)の安心を皆様に提供することができます。

社員の数は多くはありませんが、生損保会社等で豊かな経験を積んできたプロフェッショナルチームにより、ハートフルなサービスをお客様にご提供すると同時に、安定的な経営がされています。

2013年度の業務及び財産の状況に関し、本ディスクロージャー資料にまとめましたので、ご高欄ください。

ブロードマインド少額短期保険は、2014年4月1日に**アスモ少額短期保険株式会社**と社名を変更致しましたが「**小さくてもキラリと光る保険会社**」として、引き続き、お客様に確かな安心を提供して参りたいと思います。

今後とも、あたたかいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

アスモ少額短期保険株式会社  
(旧ブロードマインド少額短期保険株式会社)

代表取締役社長 **飛田 浩志**

## 1-2 事業の概要

### 2013 年度の概観

2013 年度は当社の株主変更が予定されていたため、既存代理店の様子見、将来的に社名変更が予定されていたことによる広告宣伝の打ち切り、新規契約獲得のためのインターネットでの申込画面の刷新の見送り、株主変更が決まってからは、移転や社名変更準備等のため、計画していた新規契約の獲得ができずに終わってしまいました。

しかしながら、2011 年度から開始致しました事業の再構築を今年度も引き続き行ない、収支のバランスが著しく損なわれていたフロントガラス破損補償保険は 2013 年 10 月より契約を更新停止とさせていただいたことにより、事業収支の改善に結びついております。また、これまで行なってまいりました主力商品である生命保険商品の収支改善策の効果が現れ、当社の収支改善に大きく結びついています。

新規契約が伸びなかったことにより、保有契約および収入保険料は前年度より減少をしていますが、上記のような収支改善施策により、**2013 年度は当社設立以来最高益**を出すことができ、保険会社の健全性を表す指標のひとつであるソルベンシー・マージン比率は昨年同時期の 1,576.7%から **3,604.4%** (2014 年 3 月末時点)と大幅に増加し、お客様に安心して当社の保険にご加入、ご継続していただけるようになりました。

その一方で、収支バランスが大きく崩れ、やむをえず更新を停止させていただいておりますフロントガラス破損補償保険にご契約のお客様、取扱代理店の皆様、関係各位には、多大なるご迷惑もおかけしてしまいました。この場をお借りして、お詫び申し上げます。

### 保有契約件数

2013 年 10 月より毎月更新を停止しておりますフロントガラス破損補償保険の契約数の減少および生命保険商品の新規契約の減少により、2014 年 3 月末の保有契約は 8,972 件となりました。

### 収入保険料

収入保険料は 360,105 千円となり、前年度(376,365 千円)より 16,260 千円の減収となりました。これはフロントガラス破損補償保険の更新停止および生命保険契約の新規契約が失効・解約等の純減を補うことができず、保有契約が純減したことによるものです。

### 代理店数／募集人数

2014 年 3 月末における当社の代理店数は 136 店(前年同時期 158 店)、募集人数は 1,797 名(前年同時期 1,766 名)となりました。代理店数が減少しておりますが、これは、フロントガラス破損補償保険の販売のみを行っていた代理店の業務廃止が主な要因です。

## 1-3 収支の状況

### 経常収益

2014年3月末における当社の経常収益は507,328千円と前年同時期(549,524千円)より42,196千円の減少となりました。これは、スポーツ傷害保険の保有契約が2013年3月末でゼロとなったことにもない、同商品の保険金支払が大きく減少し、再保険会社からの再保険金収入が減少したことが大きく影響しています。ただし、スポーツ傷害保険の保険金支払が減少したことより、当社収益には大きく貢献しています。

### 経常費用

2014年3月末における当社の経常費用は431,826千円となり、前年同時期(521,938千円)より90,111千円を減少させることができました。これはスポーツ傷害保険の支払保険金が大きく減少したこと、生命保険商品の新規引受基準の見直し、および、フロントガラス保険の支払保険金の減少等、保険収支の改善が大きく貢献しています。

創業以来赤字に苦しんでいた当社ですが、2012年度で初の単年度黒字(純利益 27,296千円)を達成し、2013年度は不採算商品からの撤退と、2011年度より着手した徹底したリストラクチャリングによる事業費の大幅削減、そして保険収支の大幅改善により、**当期の純利益は 69,202千円となり、創業以来最高益**を達成することができました。

### 純資産

2014年3月末における当社の総資産は244,293千円となり、前年同時期(195,782千円)より48,510千円増加しました。純資産額も前年同時期(69,005千円)より69,202千円増加し138,207千円と倍増いたしました。また、現預金も前年同時期より25,843千円増加し、117,816千円となり、安定経営ができるようになりました。

### 今後の事業課題

2011年度から行ってまいりました事業の再構築に加え、保険収支も大幅に改善することができ、安定して収益の得る会社になることができました。2013年12月末に介護関連事業を中心に事業展開を行なっている株式会社アスモ(東証二部上場)グループの一員となりました。今後はアスモグループ各社とのシナジー効果も活かす経営を行い、私たちの目標である「小さくてもキラリと光る保険会社」を目指し、その実現に邁進してまいります。

- ① 高まる介護ニーズに備える介護保険商品の新規契約促進
- ② 新規代理店との積極提携およびニューチャネルの開拓
- ③ 有料老人ホーム入居者およびご家族向けの保険の開発および販売
- ④ 雇用環境の改善に伴う有料人材獲得のための中小企業向け役員・従業員保障プランの積極販売

## 1-4 財務の健全性

---

### 責任準備金

2014年3月末における当社の責任準備金は、34,993千円となっています。フロントガラス破損補償保険を除き、引受リスクの80%を再保険によりカバーしているため、責任準備金の積立額は相対的に少なくなっています。

### ソルベンシー・マージン比率

2014年3月時点における当社のソルベンシー・マージン比率は**3,604.4%**となりました。前年度の1,576.7%と比較しても更に大きな数字となり、より一層皆様に安心してご加入いただくことができるようになりました。

### 再保険によるリスクヘッジ

当社では、現在販売しております生命保険商品全商品におきまして、引受リスクの80%を再保険(他の保険会社に保険をかけること)により社外に出すことにより、当社の財務基盤に万一のことが生じても保険金の支払いに支障がおこりにくい仕組みとなっています。(既に販売を停止しているフロントガラス破損保障保険を除く)

### 資産運用

当社では、保険業法第272条の12、保険業法施行規則第211条の26から28の定めに従い、保険料として收受した金銭その他の資産の運用については、現預金のみとなっております。

## PART 2

### 商品とサービス

- 2-1 商品のご紹介
- 2-2 販売体制
- 2-3 お客様サポート
- 2-4 情報開示

## 2-1 商品のご紹介

---

### 販売商品

現在、当社では「生命定期保険」「入院保障付生命定期保険」「無選択型生命定期保険」の3商品を販売しています。

### 生命定期保険

万一の死亡、重度障害の場合に保険金をお支払いする保険です。生命保険の基本ともいえるシンプルで応用範囲の広いプランです。「いきいきプラン」「あんしんライフ」「生きるんじゃ！」などの商品名で販売しています。

### 入院保障付生命定期保険

万一の死亡、重度障害の保障に加え、入院時の保障も組み込まれた保険です。死亡保障と入院保障をお手軽な料金でカバーできるプランです。「けんこうプラン」「あんしんメディカル」などの商品名で販売しています。

### 無選択型生命定期保険

万一の死亡時に保険金をお支払いする保険で、事故により死亡されたときは3倍の保障があります。健康告知なしでご加入いただけるシニア向けのプランです。「しあわせプラン」「あんしんシニア」などの商品名で販売しています。

## 2-2 販売体制

---

### 対面代理店チャネル

お客様のニーズに沿った商品を提案し、販売していくチャネルです。個人で営業している代理店から使用人を数百人抱えている大規模代理店まで、様々な代理店により商品を提供しています。

### 通信販売代理店チャネル

通信販売により保険を販売するチャネルで、インターネットや郵便、コールセンターを通じて全国の皆様に当社の商品をお届けしています。いつでもどこでも保険に加入できる利便性が魅力です。

### 直扱いダイレクト・チャネル

インターネットで保険を検討し、契約をされる方が増えてきています。当社においても、ホームページから直接、資料請求や保険契約のお申込みをいただくお客様も増えていきます。

### 今後の取り組み

それぞれのチャネルに合わせたプロモーションを策定し、お客様への保険販売の機会を増やしていく予定です。3つの販売チャネルをもつことは、当社の最大の強みであり、今後もバランスのとれたチャネル開拓を進めていきます。

## 2-3 お客様サポート

### 基幹システムMtas

当社では基幹システムを自社開発しているため、実情に即した顧客管理、契約情報を管理しています。またセキュリティ等にも十分配慮し、お客様の情報をお守りしています。

### お客様宛通知

保険料の振替ができなかった際にお送りする「保険料ご請求案内」、更新時にお届けする「契約更新のご案内」など、きめ細かい案内にてお客様に安心を提供しています。



The screenshot shows a web-based interface for managing customer and contract information. It includes fields for company name, address, contract code, and dates. There are also sections for policy details, including policy codes and amounts. The interface is in Japanese and appears to be a standard administrative tool.

### フリーダイヤル

新規のお客様も既にご契約のお客様も、お気軽にお問い合わせをいただけるよう、フリーダイヤル回線をご用意しています。

### 保険金支払体制

当社では、お客様が安心して保険金、給付金をご請求いただけるよう、社内の保険金支払部門の体制を整備すると共に、保険金、給付金のお支払状況についてお知らせし、速やかな保険金支払いができるよう業務運営に努めています。

### お客様の声受付体制

当社にお寄せいただいたお客様の声は迅速、誠実に対応できる体制を整えています。また、頂いたお客様の声にもとづき再発防止のために社内教育や改善に努めています。

お客様の声区分	代表的な事例	件数
○保険金のお支払		
連絡・対応	保険金や給付金の請求手続きの遅延に関するもの	
お支払の可否	保険金や給付金が支払われないことに関するもの	3
接客態度	電話対応における社員のマナーに関するもの	
その他	上記以外の保険金や給付金のお支払に関するもの	
○契約の管理		
収納関係	保険料の収納に関するもの	1
ご契約の解約手続き	ご契約の解約手続きに関するもの	2
その他	上記以外のご契約の管理に関するもの	
○ご契約の手続き		
ご契約内容の説明	保険内容の説明に関するもの	1
ご契約の更新手続き	ご契約の更新手続きに関するもの	2
その他	上記以外のご契約の手続きに関するもの	
合計		9

## 2-4 情報開示

### ウェブサイト

当社では、ウェブサイトにおいて、商品内容や会社概要、また各種取り組み内容等を開示しているほか、インターネットで申込手続きが完結するオンライン申込や、資料請求などもインターネットを通じて、カンタンにできるようにするなど、お客様の利便性の向上に努めています。

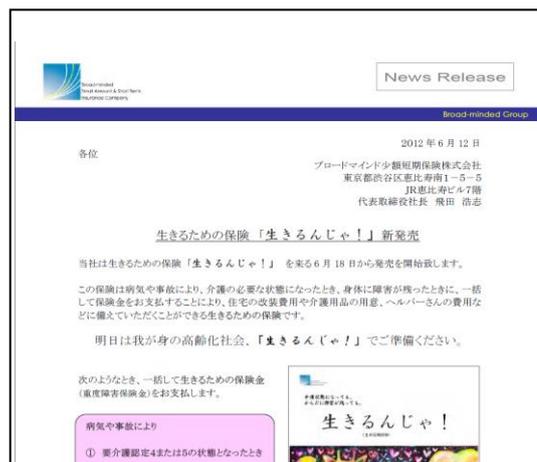


### ディスクロージャー

当社では年一回、決算等の確定を踏まえてディスクロージャー資料を作成しています。当資料は当社ウェブサイトよりご自由に関覧、ダウンロードいただくことができます。

### ニュースリリース

当社ではご契約者の皆さまをはじめとする全てのお客様に対し、当社の取り組みやお知らせについて「ニュースリリース」として情報発信しています。



## PART 3

### 各種取り組み

- 3-1 リスク管理
- 3-2 個人情報保護
- 3-3 コンプライアンス
- 3-4 教育研修体制
- 3-5 指定紛争解決機関について

## 3-1 リスク管理

### リスク管理体制

当社では、リスク管理体制の整備、強化を重点取り組み課題として位置付けています。適切なリスク管理をおこなうことで、業務の健全性および適切性を確保し、少額短期保険業者としての信用、信頼を高めていく所存です。

また、大災害発生等を想定した「コンティンジェンシープラン」も策定しています。

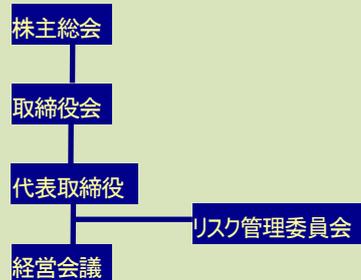
#### リスクの種類

- ・資産運用リスク
- ・保険引受リスク
- ・事務リスク
- ・システムリスク
- ・その他経営リスク

### 情報セキュリティ

情報セキュリティへの取り組み指針として、「セキュリティポリシー」を策定すると共に、「情報セキュリティ管理責任者」を配置して、適切な情報管理に努めています。

#### リスク管理体制



#### アスモ少額短期保険株式会社 セキュリティポリシー（抜粋）

##### 1. 情報セキュリティ管理体制の構築

当社が保有する全ての情報資産の保護に努め、情報セキュリティに関する法令その他の規範を遵守することにより、社会からの信頼を常に得られるよう、高度な情報セキュリティ管理体制を構築していきます。

##### 2. 「情報セキュリティ管理責任者」の配置

社内に「セキュリティ管理者」を設置するとともに、リスク管理委員会を常設します。これにより情報セキュリティの状況を正確に把握し、必要な対策を迅速に実施できるよう積極的な活動を行います。

##### 3. 情報セキュリティに関する内部規程の整備

情報セキュリティポリシーに基づいた内部規程を整備し、個人情報だけではなく、情報資産全般の取り扱いについて明確な方針を示すとともに、情報漏洩等に対しては、厳格な姿勢で臨むことを内外に周知徹底します。

##### 4. 監査体制の整備・充実

情報セキュリティポリシー及び規程、ルール等への遵守状況に対する内部監査を実施できる体制を整備してまいります。監査を計画的に実施することにより、全職員はセキュリティポリシーを遵守していることを証明します。

##### 5. 情報セキュリティ対策を徹底したシステムの実現

情報資産に対する不正な侵入、漏洩、改ざん、紛失、破壊、利用妨害などを防止するべく、徹底した対策の実施とシステムの構築を行ってまいります。高セキュリティエリアでの作業、DB アクセス権の制限など、データへのアクセスを徹底的にコントロールします。

##### 6. 情報セキュリティリテラシーの向上

全職員及び派遣職員にセキュリティ教育と訓練を継続的に実施し、当社の情報資産に関わる全員が、情報セキュリティリテラシーを持って業務を遂行できるようにします。

## 3-2 個人情報保護

### 取り組み

当社では、個人情報保護を重要課題として位置付け、関連法規に基づき各種の社内規程を整備すると共に、社内の管理体制の強化に努めています。

### プライバシーポリシー

当社では、お客様の個人情報の保護に万全を尽くすため、「プライバシーポリシー」を定めています。

### センシティブ情報の取扱

センシティブ情報については、保険事業の適切な業務運営を確保する必要性から、業務遂行上必要な範囲内で、各種保険契約の引き受け、継続、維持管理、保険金等の支払い、保険商品の開発等の目的に限定して取得、利用いたします。

#### 個人情報の外部提供

当社はお客様とのお取引および当社の業務運営を適切かつ円滑に履行するために次のような取り扱いをおこないます。

- ・再保険会社への情報提供
- ・業務委託先への情報提供

詳細はウェブサイト上のプライバシーポリシーをご参照ください。

#### センシティブ情報

保健医療等の機微情報を「センシティブ情報」といいます。センシティブ情報については、保険業法施行規則第53条の10により、利用目的が限定されています。

#### アスモ少額短期保険株式会社 プライバシーポリシー（抜粋）

当社は、お客様の氏名や住所、電話番号、メールアドレスなど、特定の個人を識別できる情報（個人情報）の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）その他の関連法令等を遵守して、お客様の個人情報の保護を行なってまいります。

##### 1. 個人情報の取得

当社は、業務上必要な範囲内かつ、適法で公正な手段により個人情報を取得します。

##### 2. 個人情報の利用目的

当社では、次の業務を実施する目的に必要な範囲内で個人情報を利用します。

- ① 保険契約の申込みに係る引受の審査、引受、履行および管理
- ② 適正な保険金・給付金の支払い
- ③ 再保険契約の締結、再保険契約に基づく通知および再保険金の請求
- ④ お問い合わせやご依頼などへの対応
- ⑤ その他、上記に付随する業務ならびにお客様とのお取引および当社の業務運営を適切かつ円滑に履行するために行う業務

##### 3. 個人データの安全管理

当社は、個人データを正確かつ最新なものにするため、適切な措置を講じます。また、個人データへの不正なアクセス等が行われることを防止するため、必要と考えられる対策を講じます。

##### 4. 個人データの第三者への提供

当社は、次の場合を除き、第三者に個人データを提供することはありません。

- ① あらかじめ同意がある場合
- ② 利用目的を達成するために業務を委託する場合
- ③ 法令により必要とされる場合
- ④ 少額短期保険会社間等で共同利用する場合（支払時情報交換制度をご覧ください）

##### 5. 個人情報の開示・訂正・利用停止等について

当社は、お客様からご自身の個人情報に関して利用目的の通知・開示・訂正・追加・削除・利用停止の依頼があった場合は、特別の理由がない限り対応致します。

### 3-3 コンプライアンス

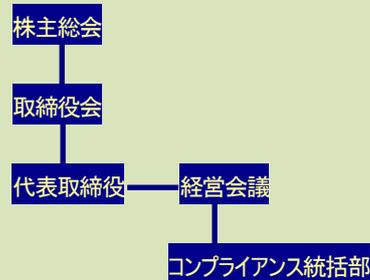
#### 取り組み

当社はコンプライアンスを最重要の経営課題として位置付け、法令遵守の体制づくり、保険募集から保険金のお支払いに至るまで、適正な業務遂行ができるよう、取り組みを続けています。

#### コンプライアンス体制

コンプライアンスを管理するため、独立した組織である「コンプライアンス統括部」を設けています。

#### コンプライアンス体制



#### 遵守すべき法令等

当社は保険業法をはじめとした関連法規はもとより、社内規程や社内ルールも遵守するよう周知徹底を図っています。

#### 遵守すべき主な法令等

- ・保険業法
- ・保険法
- ・個人情報保護法
- ・消費者契約法
- ・金融商品販売法
- ・会社法
- ・不正競争防止法
- ・犯罪収益移転防止法

#### 反社会的勢力への対応

当社は反社会的勢力による被害を防止するため、「反社会的勢力に対する基本方針」「反社会的勢力への対応に関する規程」を制定しています。また、外部専門機関との連携、取引を含めた一切の関係遮断、有事における民事と刑事の法的対応、裏取引や資金提供の禁止を徹底しています。「反社会的勢力に対する基本方針」は当社ホームページにも掲載しております。

#### コンプライアンス規程 第1条(行動規範)

1. 社会的責任と公共的使命  
当社は、少額短期保険事業の社会的責任と公共的使命を認識し、健全な業務運営を通じて国民経済への寄与と事業の一層の発展を目指すものとする。
2. 公正かつ公平な事業活動  
当社は、常に公正な競争に努め、社会的に有用かつ良質な商品・サービスをすべてのお客様に公平に提供する。
3. 法令等諸規則の遵守  
当社は、役員・社員一人一人が高い倫理観を持ち、法令・諸規則に反することなく誠実に事業活動を遂行する。
4. 社会とのコミュニケーション  
当社は、良き企業市民として社会貢献活動や環境問題に積極的に取り組むとともに、企業情報の積極的かつ公正な開示に努め、広く社会とのコミュニケーションを図る。
5. 反社会的勢力に対する断固とした姿勢  
当社は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体に対しては、断固とした姿勢で臨むものとする。

### 3-4 教育研修体制

#### 社内教育

当社では「トレーニング体系」を策定し、社員および募集人に対する教育研修を推進しています。

#### 代理店教育

保険募集の第一線にいる代理店、募集人の教育は最重要課題のひとつです。当社では商品研修、販売研修はもとより、適正な募集活動のためコンプライアンス研修等も定期的を実施しています。

#### 教育研修ツール

当社では代理店の質向上のため、さまざまな教育研修ツールを開発しています。販売スキル向上のための「販売マニュアル」事務スキル向上のための「事務マニュアル」などがあります。

#### 勧誘方針

当社では、保険募集にあたり適正な販売活動を推進するため、「勧誘方針」を定めています。



### 3-5 指定紛争解決機関について

---

#### 指定紛争解決機関について

当社は、指定少額短期保険業務紛争解決機関である一般社団法人 日本少額短期保険協会との間で、少額短期保険業務に関する苦情処理手続および紛争解決手続等の実施のための手続実施基本契約を締結しております。

指定少額短期保険業務紛争解決機関では、ご契約者をはじめ、一般消費者の皆様からの少額短期保険全般に関するご相談・ご照会への対応や苦情処理・紛争解決を行います。

#### 一般社団法人 日本少額短期保険協会 少額短期ほけん相談室

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-12-8 八丁堀 SFビル 2 階

TEL 0120-82-1144(通話料無料)

FAX 03-3297-0755

[受付]

月曜日～金曜日(祝日・年末年始休業期間を除く)

9:00～12:00、13:00～17:00

ホームページアドレス <http://www.shougakutanki.jp/general/index.html>

## PART 4

### 会社概要

- 4-1 会社プロフィール
- 4-2 沿革
- 4-3 組織体制と経営陣
- 4-4 グループのご紹介



## 4-1 会社プロフィール

### 会社名

アスモ少額短期保険株式会社  
(旧ブロードマインド少額短期保険株式会社)  
ASMO Small Amount & Short Term Insurance Company

### 会社所在地

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 3-28-6  
いちご西参道ビル 5 階  
TEL 03-6300-6240 / FAX 03-6300-6243

### URL

<http://www.asmo-ssi.com/>

### 設立

2007 年 3 月

### 役員員数

6 名

### 資本金

8,500 万円 (資本準備金 7,500 万円)

### 事業内容

少額短期保険業  
財務局登録 2008 年 3 月 17 日  
関東財務局(少額短期保険)第 15 号

### 経営陣

代表取締役社長	飛田 浩志
取締役	岡田 秀樹
取締役	近藤 正明
監査役	大西 恭幸

### 株主

株式会社アスモ	99% (持株数:15,840 株)
長井 尊	1% (持株数:160 株)

(2014 年 3 月 31 日現在)

## 4-2 沿革

### 沿革

2014/3/31	本社を渋谷区代々木に移転しました。
2013/12/27	当社株式の100%を株式会社アスモが取得しました。
2013/5/7	(社)日本少額短期保険協会加盟の他の少額短期保険会社および、隣接他業態ともに保険契約に関する所定の情報の相互照会を開始しました。
2012/6/18	生きるための保険「生きるんじゃ！」を発売しました。
2011/10/31	資本金を8,500万円に、資本準備金を7,500万円に増資しました。
2010/12/20	資本金を7,000万円に、資本準備金を6,000万円に増資しました。
2010/10/4	本社を渋谷区恵比寿南に移転しました。
2010/1/1	スポーツ傷害保険「スポーツ応援団」を発売しました。
2009/8/24	フロントガラス破損補償保険「フロントガラス保険」を発売しました。
2009/7/27	セシール会員オリジナルプラン「Style」を発売しました。
2009/6/18	スポーツ支援活動を開始しました。
2009/3/17	マニフェストを発表しました。
2008/10/6	本社を品川区東五反田に移転しました。
2008/7/31	ティグレ会の共済契約を包括移転しました。
2008/7/10	ティグレ会の共済契約について包括移転の認可を受けました。
2008/6/30	日本スポーツリスク協会の共済契約を包括移転しました。
2008/4/15	日本スポーツリスク協会の共済契約について包括移転の認可を受けました。
2008/4/1	少額短期保険事業を開始しました。
2008/3/17	関東財務局より関東財務局長(少額短期保険)第15号の登録を受けました。
2008/3/17	ブロードマインド少額短期保険株式会社に社名変更しました。
2008/2/29	資本金を5,500万円に増資しました。
2007/3/12	ブロードマインド少額短期インシュアランス株式会社を設立しました。

### 4-3 組織体制と経営陣

#### 組織体制

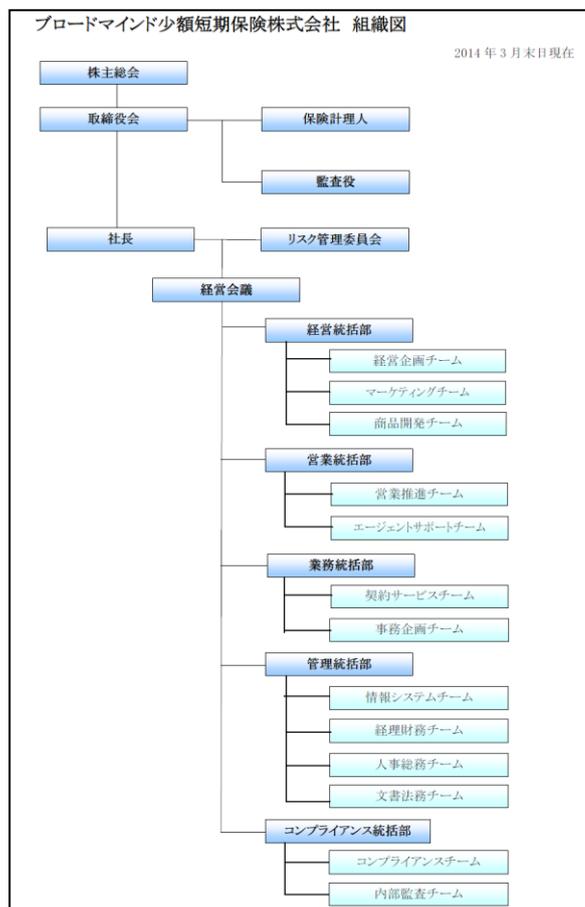
当社では実務執行部門として「経営統括部」「営業統括部」「業務統括部」「管理統括部」をおき、更に「コンプライアンス統括部」を設けています。各部門が相互に連携することで、円滑で健全な業務運営をおこなっています。

#### 経営陣

取締役会、保険計理人、監査役がそれぞれの立場で会社経営、事業の状況を管理しています。また、業務執行部門の意思決定機関として「経営会議」を設置しています。

#### リスク管理委員会

当社では、コンプライアンスの遵守状況、および危機管理、内部けん制の状況を中立的・客観的に検証する機関として、「リスク管理委員会」を設けています。



#### 4-4 グループ各社のご紹介

---

##### 株式会社アスモ

(東京証券取引所市場 第二部上場 コード 2654)

関連子会社の管理・経営指導を行っています。

##### 株式会社アスモトレーディング

安全・安心な食肉を世界中の食肉生産業者から直輸入しております。トレーサビリティシステムで、品質保持期限に厳格な対応をしています。

##### 株式会社アスモフードサービス

高齢者福祉施設給食、病院給食、事業所給食、学校給食などさまざまな分野でのお食事を全国規模で提供しています。

##### 株式会社アスモ介護サービス

介護福祉士や、訪問介護員(ホームヘルパー)などがご訪問させて頂き、ケアマネージャーの立てたケアプランに基づき介護を必要とされる方の日常生活のお手伝いをしています。

##### OX(H.K.)COMPANY LIMITED(香港)(外食事業)

香港を中心に10店舗以上の和食レストランを展開し、香港進出を考える企業様のトータルサポートもいたしております。

##### サーバントラスト信託株式会社

高齢者の財産等の管理及び有料老人ホーム入居一時金の保全等の信託事業を行っています。

## PART 5

### 各種データ

財産及び損益の状況の推移

支店等及び代理店の状況

直近の3事業年度における主要な業務の状況を示す指標

直近の2事業年度における業務の状況

直近の2事業年度における財産の状況

## 財産及び損益の状況の推移

(単位:千円)

区分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
収入保険料	413,606	376,365	360,105
(生命定期保険)	25,157	26,139	27,546
(入院保障付生命定期保険)	337,385	321,571	307,662
(無選択型生命定期保険)	26,839	26,765	23,916
(フロントガラス破損補償保険)	2,938	1,892	983
(スポーツ傷害保険)	21,288	-2	-2
正味収入保険料	267,851	228,661	239,946
(生命定期保険)	19,075	18,565	18,330
(入院保障付生命定期保険)	217,011	193,312	204,729
(無選択型生命定期保険)	14,709	14,838	15,914
(フロントガラス破損補償保険)	2,902	1,855	975
(スポーツ傷害保険)	14,150	89	-2
利息及び配当金収入	6	12	24
経常利益(又は経常損失)	△5,418	27,586	75,501
当期純利益(又は当期純損失)	△5,708	27,296	69,202
総資産	163,415	195,782	244,293
一株あたりの当期純利益損失(又は当期純損失)(円)	△357	1,706	4,325

## 支店等及び代理店の状況

(単位:店)

区分	前期末	当期末	当期増減
支店	-	-	-
営業所	-	-	-
計	-	-	-
代理店	158	136	△22
計	158	136	△22

直近の3事業年度における主要な業務の状況を示す指標

(単位:千円)

区分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
経常収益	597,460	549,524	507,328
経常利益又は損失(△)	△5,418	27,586	75,501
当期純利益又は損失(△)	△5,708	27,296	69,202
資本金の額	85,000	85,000	85,000
(発行済株式の総数)	( 16,000 株)	( 16,000 株)	( 16,000 株)
純資産額	38,369	69,005	138,207
保険業法上の純資産額	47,376	76,761	145,365
総資産額	163,415	195,782	244,293
保険契約準備金残高	56,033	60,944	38,127
(うち支払備金)	( 16,683)	( 8,472)	( 3,134)
(うち責任準備金)	( 39,350)	( 52,471)	( 34,993)
有価証券残高	-	-	-
ソルベンシー・マージン比率	799.4%	1,576.7%	3,604.4%
配当性向	-	-	-
従業員数(派遣、出向を含む。)	6 人	6 人	6 人
正味収入保険料の額	267,851	228,661	239,946

## 直近の2事業年度における業務の状況

### ① 主要な業務の状況を示す指標等

(単位:千円)

	保険種目	平成 24 年度	平成 25 年度
契約者配当金の額	該当ありません。		
正味収入保険料(注 1)	死亡保険・その他の損害保険	228,661	239,946
元受正味保険料	死亡保険・その他の損害保険	376,365	360,105
支払再保険料	死亡保険・その他の損害保険	162,926	154,590
正味支払保険金(注 2)	死亡保険・その他の損害保険	42,276	20,248
元受正味保険金	死亡保険・その他の損害保険	191,929	110,190
回収再保険金	死亡保険・その他の損害保険	149,652	89,942

注 1 正味収入保険料は、元受正味保険料(収入保険料)から支払再保険料を差し引いた額

注 2 正味支払保険金は、元受正味保険金(支払保険金)から回収再保険金を差し引いた額

### ② 保険契約に関する指標等

(単位:%)

	保険種目	平成 24 年度	平成 25 年度
正味損害率(注 1)	死亡保険・その他の損害保険	18.5	8.4
正味事業費率(注 2)	死亡保険・その他の損害保険	67.3	69.6
合計	死亡保険・その他の損害保険	85.8	78.0
元受損害率(注 3)	死亡保険・その他の損害保険	51.0	30.6
元受事業費率(注 4)	死亡保険・その他の損害保険	40.9	46.4
【合計】	死亡保険・その他の損害保険	91.9	77.0

注 1 正味損害率は、正味支払保険金を正味収入保険料で除した値

注 2 正味事業比率は、正味事業費(事業費から再保険手数料を差し引いた額)を正味収入保険料で除した値

注 3 元受損害率は、元受保険金を収入保険料で除した額

注 4 元受事業費率は、事業費を収入正味保険料で除した額

		平成 24 年度	平成 25 年度
出再再保険会社数		4 社	4 社
上位 5 社に対する支払再保険料の割合		100.0%	100.0%
格付けごとの再保険料の割合	A-以上	100.0%	100.0%
	BBB 以上	0.0%	0.0%
未収再保険金額		該当ありません。	

(格付け機関:S&P 社 2014 年 3 月 31 日現在による)

③ 経理に関する指標等

(単位:千円)

	保険種目	平成 24 年度	平成 25 年度
支払備金の額	死亡保険・その他の損害保険	8,472	3,134
責任準備金の額	死亡保険・その他の損害保険	52,471	34,993

(単位:千円)

	平成 24 年度	平成 25 年度
利益準備金	-	-
任意積立金	-	-
損害率の上昇に対する経営損失の額の変動 (損害率 1%上昇を仮定(注))	2,366	2,307

注 当期正味損害率が1%上昇していたときの正味支払保険金の増加額を記載

(単位:千円)

	平成 24 年度	利回り	平成 25 年度	利回り
利息配当金収入				
現預金	12	0.01%	24	0.01%
元本補てんの契約のある金銭信託	-	-	-	-
有価証券	-	-	-	-
小計	12	0.01%	24	0.01%
その他	-	-	-	-
【合計】	12	-	24	-

④ 資産運用に関する指標等

(単位:千円)

	平成 24 年度	構成比	平成 25 年度	構成比
資産残高				
現預金	91,973	47.0%	117,816	48.2%
元本補てんの契約のある金銭信託	-	-	-	-
有価証券	-	-	-	-
運用資産計	91,973	47.0%	117,816	48.2%
総資産	195,782	100%	244,293	100%

⑤ 責任準備金の残高

(単位:千円)

区分	普通責任準備金	異常危険準備金	契約者配当準備金等	合計
死亡保険	27,561	7,128	-	34,690
その他損害保険	273	29	-	303
【合計】	27,835	7,157	-	34,993

## 直近2事業年度における財産の状況

### ① 平成25年度(平成26年3月31日現在)貸借対照表

(単位:千円)

区分	平成24年度	平成25年度	区分	平成24年度	平成25年度
(資産の部)			(負債の部)		
現金及び預貯金	91,973	117,816	保険契約準備金	60,944	38,127
現金	-	-	支払備金	8,472	3,134
預貯金	91,973	117,816	責任準備金	52,471	34,993
有形固定資産	69	2,245	代理店借	5,751	5,756
その他の有形固定資産	209	2,419	再保険借	52,287	50,756
減価償却費累計額	△139	△174	その他負債	6,611	10,017
無形固定資産	5,119	2,530	未払法人税等	436	702
ソフトウェア	5,119	2,530	未払金	4,099	8,127
再保険貸	39,303	59,671	未払費用	861	195
その他資産	37,317	40,021	預り金	1,213	991
未収金	28,515	35,483	その他の引当金	1,182	1,427
前払費用	205	303	負債の部 合計	126,777	106,085
その他の資産	8,596	4,243	(純資産の部)		
供託金	22,000	22,000	資本金	85,000	85,000
			資本剰余金	75,000	75,000
			資本準備金	75,000	75,000
			利益剰余金	△90,994	△21,792
			繰延利益剰余金	△90,994	△21,792
			株主資本合計	69,005	138,207
			純資産の部 合計	69,005	138,207
資産の部合計	195,782	244,293	負債及び純資産の部合計	195,782	244,293

② 平成 25 年度(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで) 損益計算書

(単位:千円)

区分	平成 24 年度	平成 25 年度
経常収益	549,524	507,328
保険料等収入	541,301	484,487
保険料	376,365	360,105
再保険回収	164,936	124,381
回収再保険金	149,652	89,942
再保険返戻金	115	0
その他再保険収入	15,167	34,439
責任準備金等戻入額	8,210	22,816
支払備金戻入額	8,210	5,338
責任準備金戻入額	-	17,478
資産運用収益	12	24
利息及び配当金等収入	12	24
経常費用	521,938	431,826
保険金等支払金	354,916	264,789
保険金	96,825	60,868
給付金	95,103	49,322
解約返戻金等	60	8
再保険料	162,926	154,590
責任準備金等繰入額	13,121	-
支払備金繰入額	13,121	-
責任準備金繰入額	-	-
事業費	153,887	167,036
営業費及び一般管理費	150,525	163,906
税金	574	505
減価償却費	2,786	2,624
その他経常費用	13	-
経常利益(又は経常損失)	27,586	75,501
特別損失	-	5,781
税引前当期純利益(又は税引前当期純損失)	27,586	69,719
法人税及び住民税	290	517
法人税等合計	290	517
当期純利益(又は当期純損失)	27,296	69,202

③ 平成25年度(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで) キャッシュフロー計算書

(単位:千円)

区分	平成24年度	平成25年度
<b>I 営業活動によるキャッシュフロー</b>		
税金等調整前当期純利益	27,586	69,719
減価償却費	2,786	2,624
賞与引当金増減額	41	245
保険契約者準備金増減額	4,910	△22,816
受取利息及び受取配当金(P/L 営業外収益(-))	△6	△24
棚卸資産の増減	-	-
未収入金の増減	2,050	1,629
再保険貸の増減	28,709	△20,367
再保険借の増減	△2,965	△1,530
代理店借の増減	△463	4
その他営業活動に関わる資産の増減	743	△535
その他営業活動に関わる負債の増減	875	1,347
供託金の増減	△2,000	-
その他営業活動によるキャッシュフロー	-	-
(小計)	62,266	30,295
利息及び配当金等の受取額	6	19
法人税等の支払額	△955	△664
営業活動によるキャッシュフロー	61,317	29,650
<b>II 投資活動によるキャッシュフロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	-	-
無形固定資産の取得による支出	△210	-
その他の増減額	-	△3,806
投資活動によるキャッシュフロー	△210	△3,806
<b>III 財務活動によるキャッシュフロー</b>		
株式の発行による収入	-	-
財務活動によるキャッシュフロー	-	-
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	-	-
<b>V 現金及び現金同等物の増加額</b>	64,448	25,843
<b>VI 現金及び現金同等物期首残高</b>	27,524	91,973
<b>VII 現金及び現金同等物期末残高</b>	91,973	117,816

(注) 現金及び現金同等物の範囲は、現金及び預貯金からなっております。

④ 平成 25 年度(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)株主資本等変動計算書

(単位:千円)

区分	平成 24 年度	平成 25 年度
株主資本		
資本金		
前期末残高	85,000	85,000
当期変動額	-	-
当期変動額合計	-	-
当期末残高	85,000	85,000
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	75,000	75,000
当期変動額	-	-
当期変動額合計	-	-
当期末残高	75,000	75,000
利益剰余金		
その他剰余金		
繰越利益剰余金		
前期末残高	△121,630	△90,994
当期変動額	30,636	69,202
当期変動額合計	30,636	69,202
当期末残高	△90,994	△21,792
株主資本合計		
前期末残高	38,369	69,005
当期変動額	30,636	69,202
当期変動額合計	30,636	69,202
当期末残高	69,005	138,207
純資産合計		
前期末残高	41,709	69,005
当期変動額	30,636	69,202
当期変動額合計	30,636	69,202
当期末残高	69,005	138,207

⑤ 保険金等の支払能力の充実の状況

(単位:千円、%)

	前期金額	当期金額
(1)ソルベンシー・マージン総額	76,761	145,365
① 純資産の部の合計額(繰延資産等控除後の額)	69,005	138,207
② 価格変動準備金	-	-
③ 異常危険準備金	7,755	7,157
④ 一般貸倒引当金	-	-
⑤ その他有価証券評価差額(税効果控除前)(99%又は100%)	-	-
⑥ 土地の含み損益(85%又は100%)	-	-
⑦ 契約者配当準備金の一部(除、翌期配当所要額)	-	-
⑧ 将来利益	-	-
⑨ 税効果相当額	-	-
⑩ 負債性資本調達手段等	-	-
告示(第14号)第2条第3項第5号イに掲げるもの(⑩(a))	-	-
告示(第14号)第2条第3項第5号イに掲げるもの(⑩(b))	-	-
⑪ 控除項目(-)	-	-
(2) リスクの合計額 $\sqrt{R1^2+R2^2}+R3+R4$	9,737	8,065
保険リスク相当額	9,232	7,484
R1 一般保険リスク相当額	9,232	7,484
R4 巨大災害リスク相当額	-	-
R2 資産運用リスク相当額	1,799	2,114
価格変動等リスク相当額	-	-
信用リスク相当額	919	1,178
子会社等リスク相当額	-	-
再保険リスク相当額	486	340
再保険回収リスク相当額	393	596
R3 経営管理リスク相当額	330	287
ソルベンシー・マージン比率 (1)/{(1/2)×(2)}	1,576.7	3,604.4

⑥ 有価証券または金銭の信託に関する取得価額または契約価額、時価および評価損益

有価証券 該当ありません。

金銭信託 該当ありません。

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に関する事項

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

- 有形固定資産： 定率法により計算しています。  
耐用年数につきましては、社内における利用可能期間(5年)で償却しています。
- 無形固定資産： 定額法により計算しています。  
耐用年数につきましては、自社利用のソフトウェアは社内における利用可能期間(5年)で償却しています。

#### (2) 引当金の計上金額

- 賞与引当金： 従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額を計上しています。

#### (3) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税の免税事業者であり、消費税は発生していません。尚、計上時の消費税等の会計処理は税込方式により計上しています。

### 2. 重要な会計方針および表示の変更に関する事項

表示項目を保険業法およびその関係法令に準じた内容としています。

### 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### 発行済株式の種類および総数

発行済株式の種類	期首株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
普通株式	16,000	-	-	16,000

### 4. その他の注記

#### 会計上の変更および誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当事業年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

2011年度および2012年度決算において、再保険料計上に一部誤りがあり、再保険借計上額が2011年度に3,339,886円、2012年度に6,863,802円、合計で10,203,688円不足していることが2014年3月の社内精査にて判明致しました。当社では「会計上の変更及び過去の訂正に関する会計基準」に従い当該年度数値の修正を行った結果、前年度及び前々年度の修正が反映されたことにより、利益剰余金の期首残高は10,203,688円減少しております。本ディスクロージャーにおいては、それらの計上額を修正した上で掲載しておりますので、過去に発表された2011年度および2012年度のディスクロージャーとは異なる部分があります。



Broad-minded  
Small Amount & Short Term  
Insurance Company



ディスクロージャー2014

2014年7月発行

アスモ少額短期保険株式会社

2014/4/1 より社名変更いたしました。

(旧 ブロードマインド少額短期保険株式会社)

〒151-0053

東京都渋谷区代々木3-28-6 いちご西参道ビル5階

TEL 0120-53-2610 / FAX 03-6300-6243

<http://www.asmo-ssi.com>